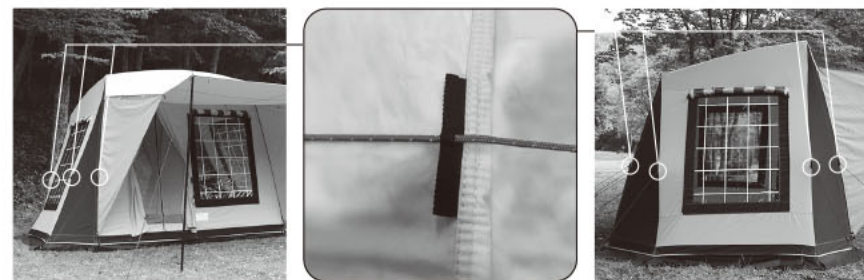


## 8 キャンピートを張り出し張り綱を張れば完成です

張り綱を張る際は、中心に穴の空いた黒テープに綱を通してから張ってください。



目隠しと防風を作る設営も可能。



サイドフラップは巻き上げができます。



## 強風が予想される場合は畳んでください



サイドフラップのファスナーを開け、キャンピート上に被せ丸めて置きます。

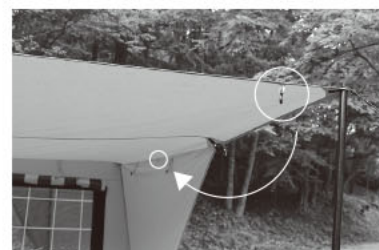


雨が降った際は、キャンピート先端中央に張り綱をセットし、下に下げて水が流れるようにしてください。これを行わないと、キャンピートに水が溜まりテントが破損します。



この部分に取り付けてください。

## キャンピート収納方法



テント撤収時はキャンピートを下記の方法で閉じてから収納してください。



キャンピート先端あるフック部分をキャンピート内側に折りこみ、ループに引っ掛けます。



キャンピートを下ろしてサイドフラップを内側に折りこみ、バックルで閉じます。



## セット内容

- テント本体
- ポールセット(樹脂製連結パーツ含む)
- キャンピートポール×2
- 張り綱
- スタンディングテープ
- スチール製ペグ×25
- 収納ケース×3

本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。使用前に必ずお読み下さい。また必ず製品と共に保管して下さい。

## ⚠ 警告

- ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をするか、ベンチレーターを開けた状態で使用して下さい。
- テント内で火気は絶対に使用しないで下さい。
- テント内部の照明は電池式のランタンを使用してください。ガスやガソリンのランタンは火災の原因になります。
- 台風、暴風雨の際は絶対に使用しないで下さい。
- 使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止し速やかに撤収、安全な場所へ退避して下さい。

## ⚠ 注意

- 快適なキャンプの為に製品の破損や付属品の不足が無いことを確認してから使用して下さい。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用して下さい。特にお子様が居る場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意下さい。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業して下さい。
- 説明書に従い全ての張り綱を確実に固定した状態でご使用下さい。
- 焚き火のそばなど火が当たる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所で使用しないで下さい。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断り致します。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は褪色や生地劣化が進み短期間で製品寿命となる可能性があります。
- 砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意下さい。

## メンテナンス、保管上の注意

- 使用後は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管してください。
- 濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地劣化を早めます。
- 製品の破損、故障についてはご購入いただいた販売店までご相談ください。
- 洗濯機で洗わないでください。

## TC生地に関しまして

- TC生地は綿とポリエステル混紡で「織りムラ織りキズ」がどうしても出てしまいます。
- TC独特の風合いのため、多少の染色むら、織りキズ、織りむらは、ご容赦ください。
- 織りムラが原因で水が漏れる事はほとんどございません。ご承知の上お求めいただきますようお願いいたします。

発売元

株式会社カンセキ

〒321-0158 栃木県宇都宮市西川田本町3-1-1  
http://www.tent-mark.com/

MADE IN VIETNAM



ミグラテール

# MIGRATEUR

TENT

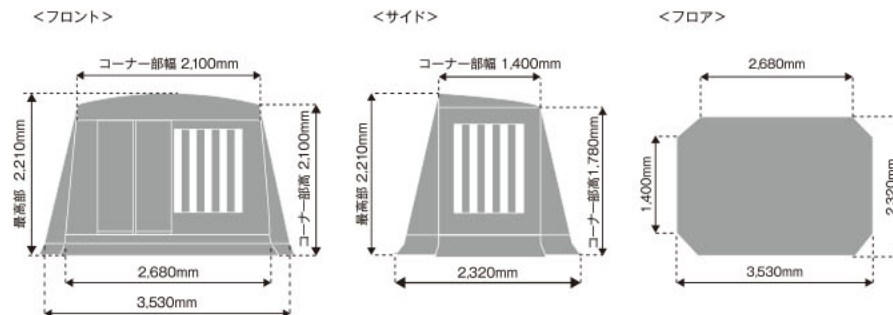
TM-200068  
取扱説明書



tent-Mark DESIGNS × OUTING

OUTING Collaboration with tent-Mark DESIGNS

## 製品サイズ



## SPEC

- 品番 / TM-200068
- 品名 / ミグラテール
- 素材 / 屋根部: ポリエステル/コットン混紡生地(TC) (表面撥水加工・PUコーティング済み)  
ウォール部: ポリエステル/コットン混紡生地(TC) (表面撥水加工)  
マッドスカート部: ポリエステルリップストップ生地  
メッシュ部: ポリエステル強化メッシュ  
テープ類: ナイロン、ポリプロピレン  
窓部: ポリウレタン
- 組立サイズ / (約)3,530 × 2,320 × 2,100/1,780(コーナー部高)mm
- 総重量 / 総重量: (約)26kg(ポール/ペグ/張り綱/収納ケース含む)  
本体重量: (約)21.6kg(幕体10.3kg、ポール11.3kg)  
収納ケース: (約)700g
- 同梱物 / 本体ポールセット(樹脂製連結パーツ含む)、キャンピートポール×2、張り綱、スタンディングテープ、スチール製ペグ×25、収納ケース×3

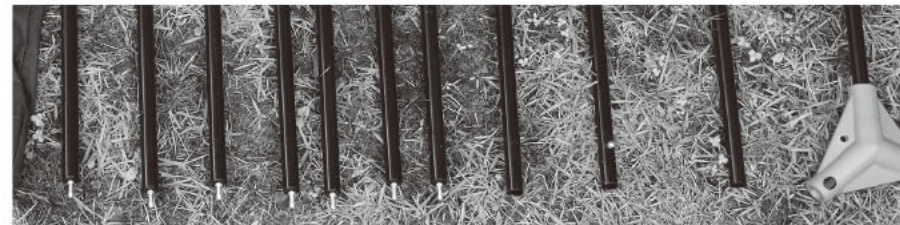


# 1 ポールは種類が多いので写真の様に並べて、不足がないか確認し設営を開始してください

- Aポール：下に凸が有り、上はラチェットボタン無し。
- Bポール：下に凸が有り、上はラチェットボタン無し。
- Cポール：Aポールと同じ長さで下に凸が有り、上はラチェットボタン有り。
- Dポール：Bポールと同じ長さで下に凸が有り、上はラチェットボタン有り。
- Eポール：真ん中にスプリングパーツ有り。
- Fポール：3か所にスプリングパーツ有り。
- Gポール：凸やスプリング、ラチェット等全て無し。
- Hポール：先端に樹脂パーツ有り。
- フロント張り上げポール：先端に黒の樹脂コーティング有り。

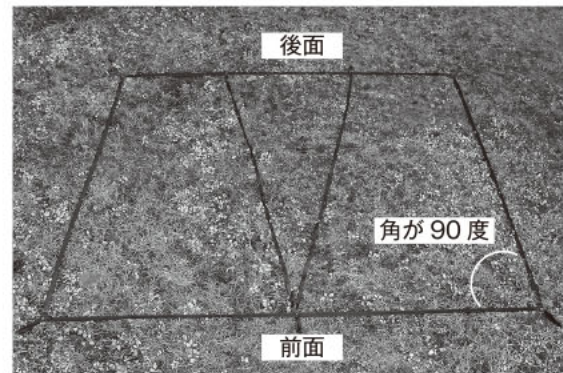


凸部分を下にして並べてください。



# 2 スタンディングテープをペグダウンします

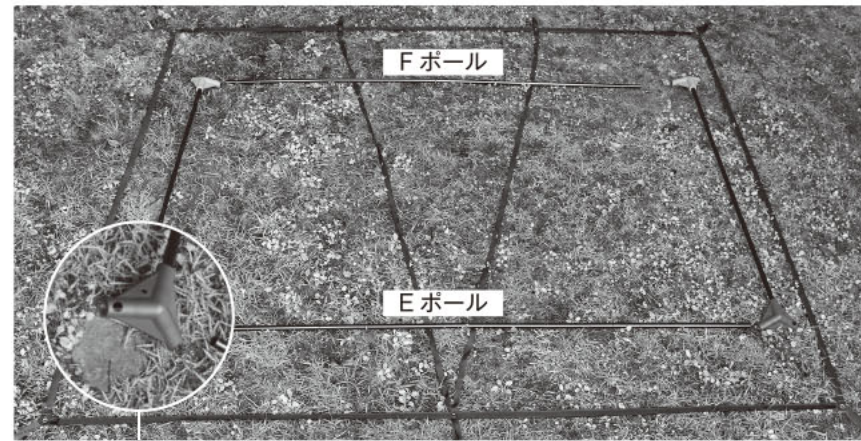
必ず角が90°になるようにペグダウンしてください。これがひし形になってしまうときれいに張れません。真ん中のテープV字の下半分がテント正面になります。



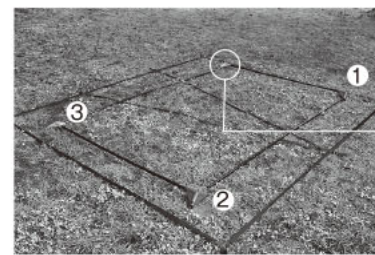
※ペグはループ角のテープに打ってください。グロメットには打たないでください。

# 3 天井部分のポールを組みます

E・F・G・Hポールを使います。GポールはE・F・Hポールを組んでから使用します。※写真の様にポールを置いてください。

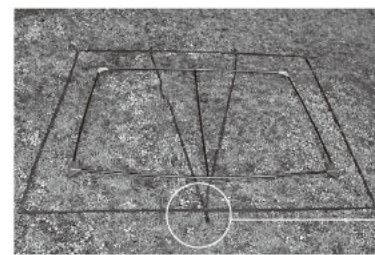


Hポールの濃い茶色のパーツがテント前方になります。更に赤シールが付いている方がテント下方になります。



樹脂パーツにポールを差し込みラチェットで留めます。「テント前方」の角を最後にするのはめにくいので、「後ろの角」を最後に入れてください。

「この角を最後に入れてください」



Gポールをはめ込みます。写真の様に真ん中にポールをセットします。E・Fそれぞれの中央にあるスプリングパーツに差し込みます。

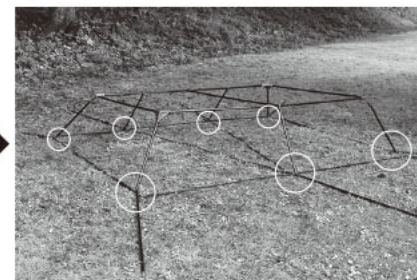
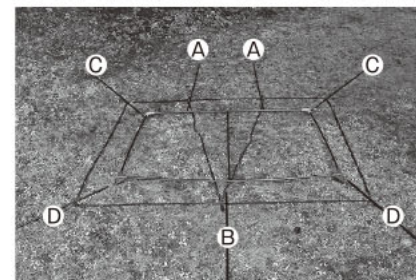
テント前方のEポールには中央に2個のスプリングパーツがついていますが、1個だけ差し込んでください。

# 4 脚を組み立てます

ポールを指定の場所に置いて、間違いがないか確認し差し込みます。

AとBのポールはスプリングに差し込み、ラチェット部を樹脂パーツに差し込みます。

幕を被せやすくする為に、1関節の所で折っておきます。



# 5 幕を被せます

前後を確認して写真の様に被せます。



横面：縦縞模様の窓があります。  
後面：真ん中に入り口があります。  
全面：キャンビーで覆われています。

# 6 脚を立ち上げ、ポール凸部分をスタンディングテープのグロメットに差し込みます



この部分にポール先端凸部分を差し込んでください。



※立ち上げる際ポールで指を挟んだり、生地を挟んだまま立ち上げると、怪我や生地の破損につながる可能性があります。お気を付けてください。

全て立ち上げたら、テント本体にあるグロメット部分をスタンディングテープ下に回しこんで、ポール凸部分にセットします。セットしたらテープを引きテンションをかけます。



# 7 テントの中に入り、ベルクロとライナーをセットします

テント本体内側にあるベルクロをポールに巻きます。



この作業は必ず行ってください。張り綱を張る際この部分が巻かれていないと、耐風性能が発揮されません。



ライナーをセットします。写真の様に外側からフックを通します。内側から外側には掛けないでください。天井は防水性能を上げるためPUコーティングされています。その為外気温の温度差で結露が発生する場合がございます。結露が予想される場合は取り付けてください。予想されない場合は取り付け不要です。

写真の部分(テント側面窓の下)を引きテンションをかけてシワの無いようにペグダウンします。反対側も含め、全4か所あります。

